

# 世界にエールを送るまち ふくしまを目指して

～ ポストコロナへのチャレンジ ～

開かれた市政 × スピードと実行

*we are fukushima city*  
KOHATA hiroshi

# 復興創生・広域的発展を牽引

住み続けたいまち

移住・定住拡大

デジタル化  
ゼロカーボン化

安全・安心

子育て・教育

産業振興

賑わい・文化

女性等活躍  
共創

関係人口拡大

関わりたいまち

# 新たな復興創生ステージへ！

## 福島市人口ビジョン（2020年度改訂）

人口目標：2040年（令和22年）に **24万5千人**



施策展開による  
人口の引き上げ

①自然動態と②社会動態の条件により人口目標を達成します

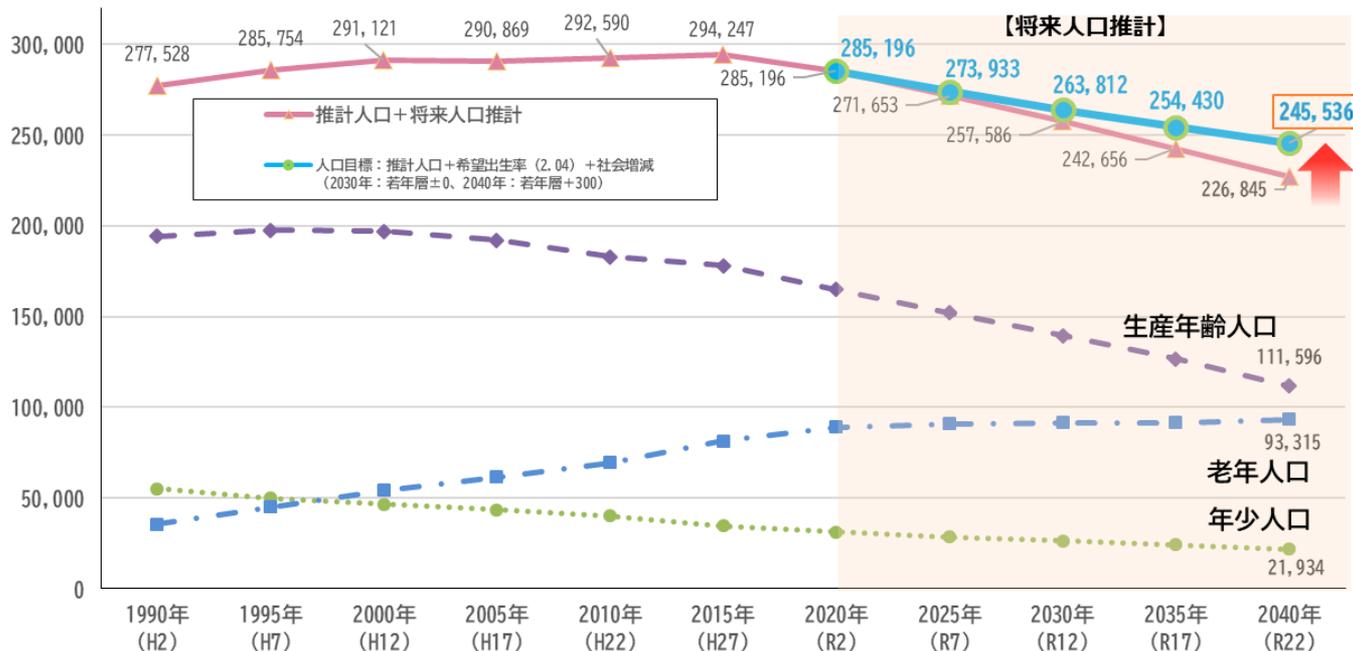
【シミュレーション条件①（自然動態）】

2040年（令和22年）に市民の希望出生率「**2.04**」を実現

【シミュレーション条件②（社会動態）】

2030年（令和12年）に若年層の社会増減「**±0人**」を実現

2040年（令和22年）に若年層の社会増減「**+300人**」を実現



- ・生産年齢人口は1995年（H7）がピーク。
- ・年少人口は減少、2000年（H12）以降は老年人口が上回る。
- ・出生数減、転出超過（社会減）の傾向続く。

※各年10月1日現在

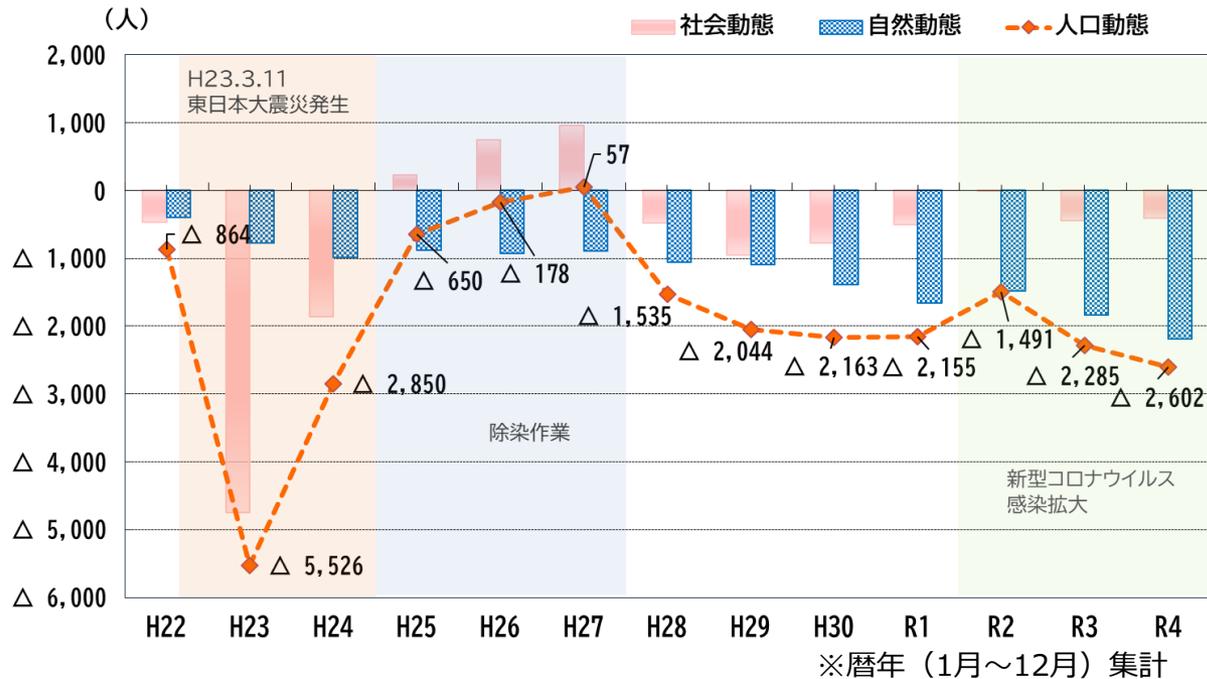
# 新たな復興創生ステージへ！

## 福島市の人口

2024年(令和6年)1月1日現在

# 27万5千人

### 【人口動態の推移】



### ▶社会動態

R3、R4と減少幅が拡大。  
転出転入ともに青年層を中心として  
大都市圏への転出超過が増加。

### ▶自然動態

R4は出生数が過去最少で前年比  
3.3%減。  
婚姻数も減少傾向。  
新型コロナの影響が推測される。

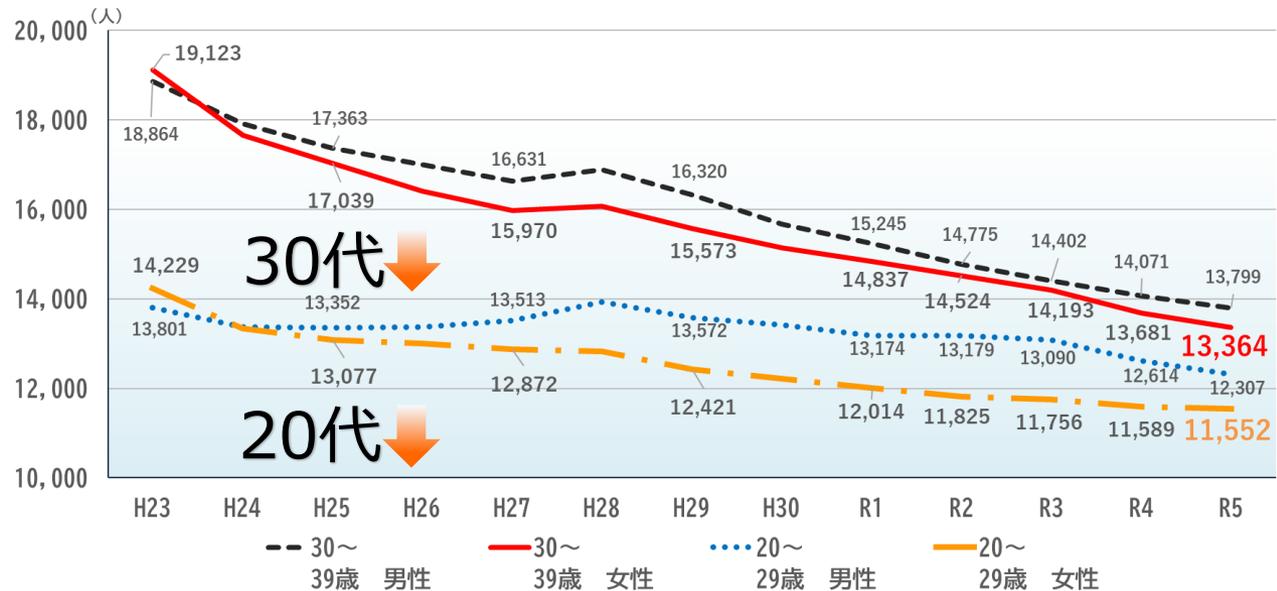
### 【年齢別社会動態】

区分	総数	年齢別										
		0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上		
令和4年												
社会増減	△ 408	48	61	△ 583	12	△ 29	6	34	3	40		
転入者	8,852	743	770	3,229	1,758	932	770	312	139	199		
転出者	9,260	695	709	3,812	1,746	961	764	278	136	159		

# 新たな復興創生ステージへ！

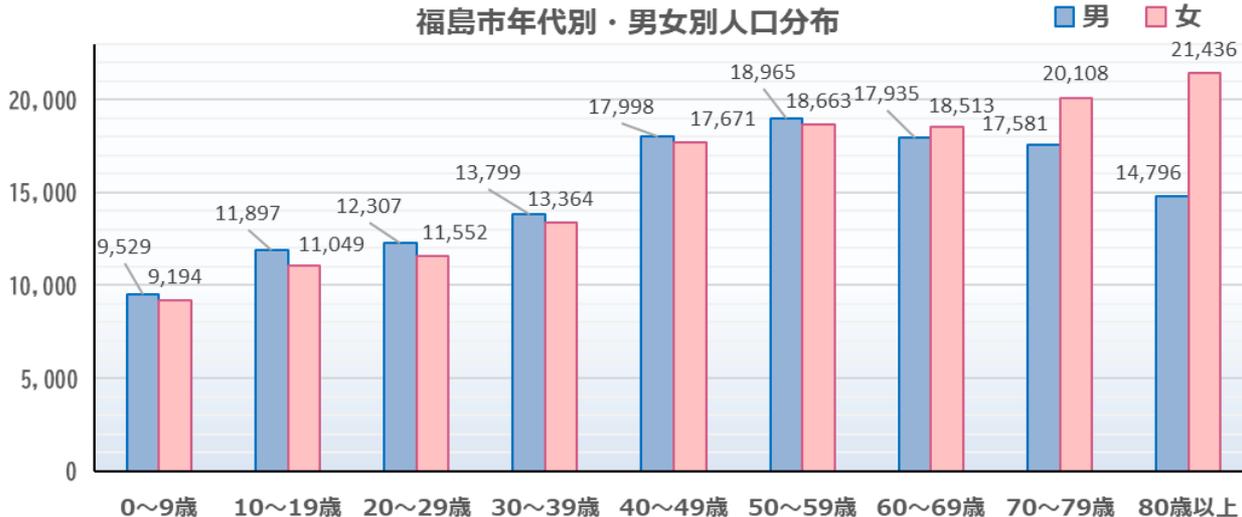
## 福島市の人口（若年層）

- 市全体では女性人口が多いが、59歳以下は各年代で男性人口より女性人口が少ない。
- H23は20～39歳の女性人口は同年代の男性人口を上回る。H24以降は女性人口が下回る。
- H23と比較し、20～29歳では男性人口は11%減少に対して、女性人口は19%減少。30～39歳でも、男性人口より女性人口の減少率が高い。



※注：福島県現住人口調査より（5月1日現在）

福島市年代別・男女別人口分布



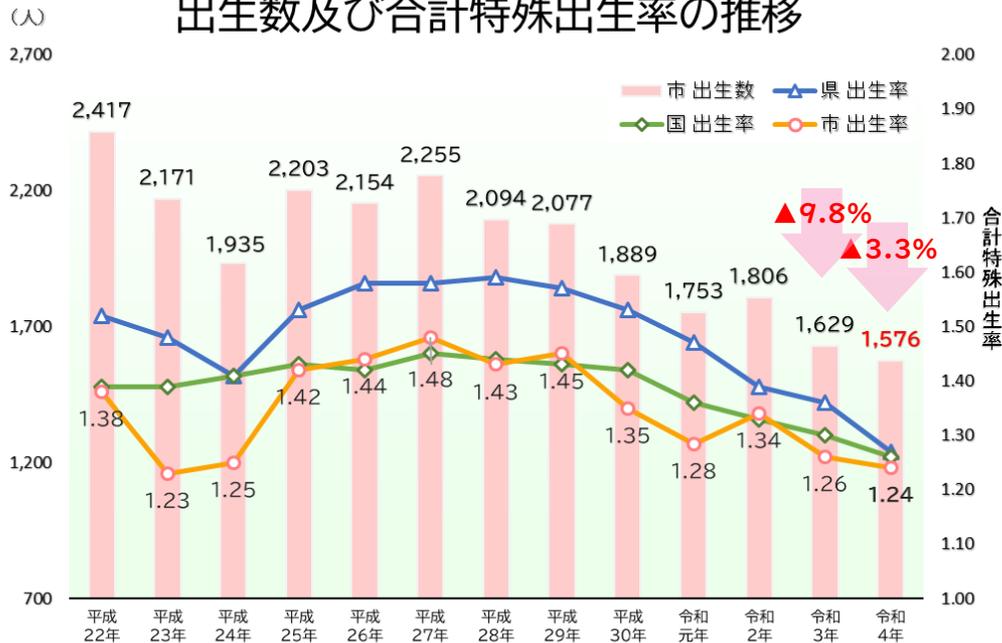
**福島市推計人口**  
**男性134,807人 女性141,550人**

※注1：福島県現住人口調査より（R5.5.1現在）  
 ※注2：80歳以上には「年齢不明」も含む。

# 新たな復興創生ステージへ！

## 福島市の人口（出生・婚姻）

### 出生数及び合計特殊出生率の推移



### ▶出生数

R3年は前年比9.8%減。  
R4年は前年比3.3%減の1,576人で過去最少となった。

### ▶合計特殊出生率

一貫して県平均を下回っている。

R4年は前年比0.02pt減少。  
2年連続で全国平均を下回った。

H27年を境に減少傾向が継続しており、  
H23年に迫る低い水準となっている。

### 婚姻届出件数



### ▶婚姻届出件数

R4は前年比3.1%減少。  
新型コロナの影響によりR2年度以降は  
R元年度比15%以上の減少が継続。

今後の出生数の減少が懸念される。

< 出典 >

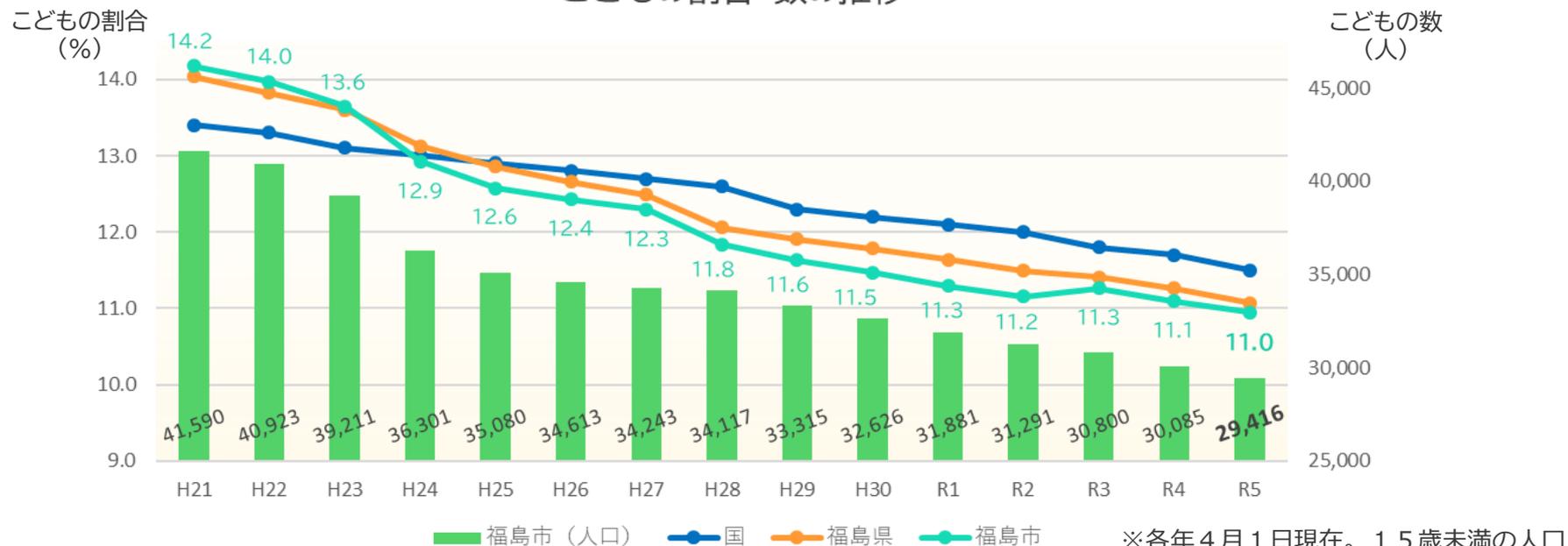
出生数：福島県現住人口調査を基に独自集計。

合計特殊出生率：福島市のR2以前は保健衛生事業の概要より。

R3以降は福島県現住人口調査を基に独自集計。変動の可能性がある。6

## 福島市の人口（こども）

こどもの割合・数の推移



### ▶こどもの割合

- ・本市のこどもの割合は、H23まで国・県を上回る。
- ・H23～24にかけて、△0.7ポイントと大幅に減少。
- ・H24以降は、国・県を下回る状況が続いている。

### ▶こどもの数

- ・H22まで4万人を超えていたが、毎年減少し続けている。
- ・R5は前年より669人の減、率で2.2%減少し、3万人を下回った。

## 人・まち・自然が奏でるハーモニー 未来協奏(共創)都市 ～世界にエールを送るまち ふくしま～

- ・市民が誇りをもって住み続けたい、よその人が関わってみたいと思うまち
- ・これを実現し、大震災からの復興創生を成し遂げることで、「世界にエールを送るまち」に

### 基本理念(まちづくり全体を網羅する重要な5つの視点)

#### 1. 福島らしさを生かした 新ステージの形成

自然や歴史、花や音楽等、  
福島らしい特徴を生かす視点  
グレードアップしていく視点

#### 2. 持続可能性の実現

地域としての持続可能性、  
SDGsの要素や考え方を考  
慮する視点

#### 3. 多様性の尊重

人間尊重や一人ひとり、  
様々な主体の多様性を尊重  
する視点

福島らしさを生かしたここにしかないまち



田園の豊かさ、人の好さを生かした  
共生・共創のまち

#### 4. 県都としての責務

「福島」の名を有する県都と  
して県全体の発展、復興・  
創生に貢献する視点

#### 5. ポストコロナ時代を 見据えた社会づくり

ポストコロナ時代を見据え  
た新たな発想による社会づ  
くりの視点

## 令和5年度当初予算の概要

### 一般会計当初予算

**1,147 億円**

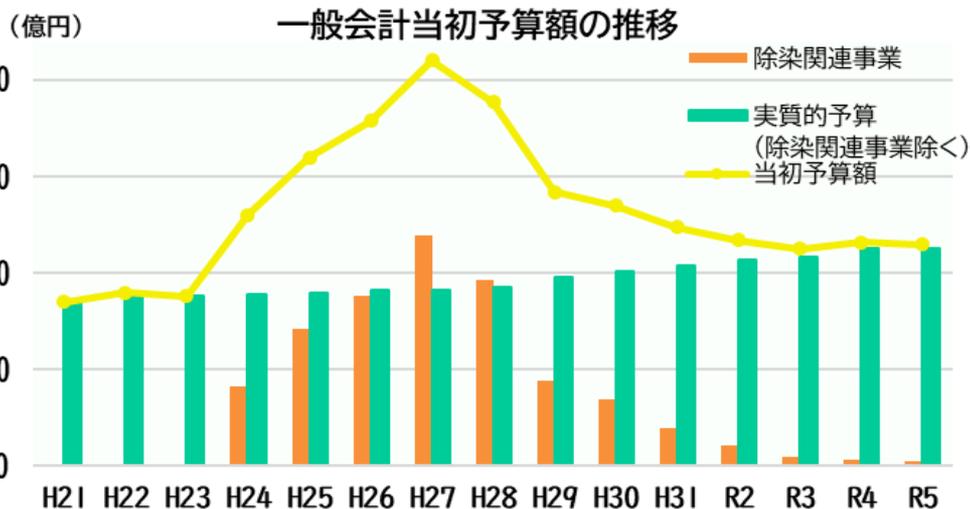
除染関連事業費を除く

**過去最高額の積極型予算!**

(対前年比  $\Delta$ 12億円  $\Delta$ 1.0%)

◎ **除染関連事業費を除く** **1,127億円** (対前年比 **+3千万円 +0.03%**)

◎ **除染関連事業費** **20億円** (対前年比  $\Delta$ 12億円  $\Delta$ 38.0%)



### 【財源の確保】

#### ○ 自主財源の確保

- ・ 市税の回復 +407億円
- ・ ふるさと寄附金 14億円
- ・ ネーミングライツ収入 2,079万円
- ・ 広告料収入 990万円
- ・ 削減 2億2,132万円

#### ○ 事務事業の見直し

- ・ 削減 1億7,000万円

#### ○ 有利な市債の活用

#### ○ 基金の活用

- ・ 17基金 45億5,925万円

## 令和5年度当初予算の概要

# 主要プロジェクト

地域活力の再生、人口減少対策、新時代への投資としてのデジタル化・ゼロカーボン化に重点を置きながら、ポストコロナ時代の飛躍へとつなげるチャレンジを進め、福島の新ステージを目指します。

新型コロナ・  
物価高対策

1

33億  
8,483万円

安全安心な  
まちづくり

2

229億  
2,267万円

子育て・教育で  
選ばれる  
まちづくり

3

227億  
1,239万円

持続可能な  
産業の創出

4

33億  
4,048万円

賑わいと  
文化の振興

5

63億  
7,756万円

デジタル都市  
の形成と  
地域経営の  
リノベーション

6

12億  
6,934万円

ゼロカーボン  
の推進

7

18億  
8,116万円

移住定住の促進、  
女性活躍社会の  
形成

8

5億  
7,699万円

# 1 新型コロナ・物価高対策

## (1) 新型コロナ対策



感染動向を注視しながら、重症化リスクの高い高齢者等を重点に、必要な感染対策を講じます。社会経済活動の早期回復を図り、ポストコロナへの歩みを加速します。

### ◎ワクチン接種体制の確保

～重症者を減らすことを目的として、令和6年3月末まで無料で実施～

- ・春開始接種（R5.5～9月 65歳以上、基礎疾患、医療・施設従事者）
- ・秋開始接種（R5.9.20～年度末 生後6か月以上の全世代）
- ・個別接種（医療機関への予約）、集団接種（夜間・日数など柔軟に実施）
- ・初回接種（生後6か月からの未接種者）
- ・医療機関への支援



ワクチン接種

### ◎感染防止対策

- ・感染状況や人流活発期に応じた情報発信と注意喚起
- ・基本的対策の習慣化
- ・重症化リスクのある高齢者等を重点とした感染対策
- ・インフルエンザ感染拡大への注意喚起と予防接種の周知



高齢者施設感染対策

### ◎ポストコロナへ向けて

#### ・ポストコロナ会議等支援

民間施設での対面会合の開催経費一部補助

#### ・ポストコロナ対応デジタル化等支援

事業者のデジタル化対応経費の一部補助

- ・コロナ対策の検証・継承（保健所体制強化、感染症の医療体制整備、感染症に強い社会づくり）



コロナ対策検証・継承（保健所執務室）

# 1 新型コロナ・物価高対策

## (2) 物価高対策



長引くコロナ禍に加えて、原油価格上昇や円安による物価高騰の影響を受ける市民生活と地域経済を支援します。物価高騰の状況や国の対策を踏まえて、弾力的に対応します。

～国の物価高克服追加対策に対応した対策～

### ◎市民生活支援、事業者支援

- ・子育て世帯生活支援特別給付金 (R5.5.30支給開始5万円/子)
- ・非課税世帯等生活支援給付金 (R5.5.30支給開始3万円/世帯、R6.1支給7万円/世帯)
- ・福島市デジタルクーポン (R5.11)  
本市初の電子クーポンを発行。サポートデスクを拡充して手続きを支援。デジタル化を浸透。
- ・福島市選択型エールクーポン (R6.3予定)  
購入不要な値引き型の紙クーポン または デジタルクーポンのいずれかを利用
- ・飼料価格高騰緊急対策  
牛の飼育種別・頭数に応じて畜産農家へ補助
- ・肥料価格高騰対策支援 (炭化器導入を支援し、価格高騰する化学肥料の低減促進)
- ・福島型給食推進事業の拡充 (R5.5～)  
給食費負担軽減1/3(R4.7) ⇒ 給食費高騰分を追加支援。給食の質と量を継続的に確保
- ・子ども食堂運営支援 (フードドライブ活動を促進し、子育て世帯を支援)

### ◎物価高等に強い体質づくり

- ・米粉等利用拡大支援  
小麦粉代用として米使用の商品開発10万円・生産(価格差2/3)を支援
- ・省エネ化、再生可能エネルギーの活用



福島型給食

## 2 安全安心なまちづくり

### (1) 災害に強い防災都市の形成



災害に強い社会インフラ整備、情報収集伝達体制の強化や地域のコミュニティ形成、降雪への対策強化など、災害に強いまちづくりを進めます。

#### ◎災害対策の強化

##### 【水害対策パッケージ】 ～減災・水防対策、土地利用対策、治水対策、流域対策

- ・災害対策オペレーションシステム運用（R3.5）～情報の一元的な収集・表示  
雨量・河川水位等の自動収集、GISを利用した被害情報、避難情報の発令判断支援・一括配信  
河川水位予測システム導入、市独自雨量計設置、気象情報収集の多角化(気象専門企業の解析)
- ・防災情報発信の多重化（屋外スピーカー、戸別受信機、防災アプリリニューアル(R5.4)）
- ・ハイブリッドな浸水対策  
河川改修、河道掘削、祓川・瀬上中川原樋管浸水対策、災害に強いインフラ整備(橋梁長寿命化)、  
田んぼダム本格導入(R5新たな流域治水)、雨水貯留施設(R4瀬上地区等)
- ・災害時要援護者支援パッケージ（個別避難支援プラン策定、要支援者名簿の更新、地区防災計画）

##### 【熱中症対策】

- ・高齢非課税世帯エアコン設置支援（R5.9 ワンストップ手続きと費用補助。申請期限延長）
- ・クーリングシェルター（本市58施設を一時避難場所に開放）

##### 【除雪力強化パッケージ】 ～「雪害」への総合的な対策強化

- ・除雪車運行管理システムの導入 ・除雪協力事業者への待機保証制度導入
- ・除雪マニュアル策定（市民共創で除雪体制強化）
- ・アダプト制度の導入（地域除雪3団体と協定締結）
- ・小型除雪機械購入補助（受付を前倒し6月から開始）
- ・市民への貸出用具の充実 ・除雪機貸出拠点拡充



田んぼダム

除雪アダプト制度

## 2 安全安心なまちづくり

### (1) 災害に強い防災都市の形成

#### ◎防災体制の強化

- ・防災訓練の実効性確保 (R5.5土砂災害想定<sup>※</sup>の総合訓練、夜間・広域防災訓練)
- ・防災意識醸成、危機対応力向上

ぼうさい体験パッケージ(防災運動会等を学校、地域、企業へ展開)、  
防災啓発動画の配信(R5.4)、ふくしま防災体験フェアの開催(R5.7)

- ・災害時連携ふくしまタスクフォース (災害協定事業所の横断的連携)
- ・災害協定締結

被災車両等の撤去(R5.5)、余目地区町会連合会と指定避難所運営協定(R4.9)

県と県内59市町村が大規模災害時の相互応援協定締結(R5.10<sup>※</sup>応援・受援の充実)

- ・災害応援 (能登半島地震: 応急給水、ふるさと納税代理受付等 水害: 豊橋市、秋田市、いわき市)
- ・多様な避難施設、分散避難

避難所定員縮小と増設(警戒レベルに応じ44か所)、避難所混雑状況の配信  
通い慣れた障がい福祉施設を避難所活用(12法人20事業所と協定)

妊産婦・医療的ケア児等の旅館・ホテル避難(17か所と避難者支援協定締結)  
市内事業所店舗等の駐車場を一時避難場所活用(29か所)

ペット同伴避難所の充実(動物愛護ボランティア創設、県獣医師会協定 **全国初**)

多様な施設の活用(福島刑務所との協定、町内会と民間事業所の協定(福島トヨタ等))

#### ◎消防力の充実強化

- ・消防本部・福島消防署の再整備 (市民会館用地へ移転。R10.4供用開始予定)
- ・ハイスパックドローン運用 (R5.7) ・高規格救急自動車整備
- ・AEDサポート事業所との連携 ・消防団員報酬の改定による処遇改善



総合防災訓練



ペット同伴避難所

ハイスパック  
ドローン



### (2) 健都ふくしまの創造

人生100年時代を見据えた、市民総ぐるみの健康づくりを推進します。  
高齢者の生きがいづくりや社会参加を支援し、高齢者の元気を創造します。



ウォーキングイベント

#### ◎健都ふくしま創造事業

- ・健都ふくしま創造市民会議の開催
- ・健康づくりで競争(共創)チャレンジ



- 「ふくしま健民アプリ」の地域健康づくり取組成果に応じて、まちづくり交付金を上乗せ配分
- ・「適しお」推進 (適しお食品PR・メニュー提供、**適しおサポーター登録拡大(70団体)** など) ※R5.10月現在
- ・受動喫煙対策 (周知啓発、受動喫煙防止重点区域での指導員巡回)
- ・特定健康診査の推進
- ・定期予防接種の推進 (定期予防接種で子宮頸がん9価ワクチン開始)
- ・ふくしま健康づくりプラン (R6.3策定)



ふくしま健民アプリ

#### ◎高齢者の元気の創造

- ・介護人材確保パッケージ  
元気高齢者の介護分野参入支援、従事者の資格取得支援、研修開催支援、介護職動画発信 など
- ・シルバー人材センター活動支援 (ICT利活用の促進、有償ボランティア事業の創設 など)
- ・地域で支える「小さな交通」推進 (アドバイザー派遣、運行経費補助。R5.9実証運行開始)
- ・高齢者の路線バス等利用促進 (75歳以上の無料パスポート)
- ・新たな地域交通システムの構築 (R5.3地域公共交通計画策定)
- ・**超高齢社会の地域公共交通を考える会設置** (R5.11 公共交通空白地域・デジタル化等を議論)
- ・いきいきももりん体操 ・高齢者いきいきプラン (R6.3策定。歩くことの習慣化)

### (3) 地域医療の充実



救急医療、医師確保対策など、福島県立医科大学や市医師会・医療機関と連携し、地域医療体制の充実を図ります。

#### ◎救急医療体制の充実

- ・救急告示病院運営費補助
- ・休日夜間輪番制救急医療の体制強化  
土曜日の午前も輪番体制を組み、二次救急医療体制を確保
- ・福島県立医科大学との連携（寄附講座）  
二次救急医療機関に医大医師を派遣し、  
実地研修等による救急医療体制の基盤強化
- ・救急搬送体制の強化

12誘導心電図伝送装置を救急車全10台に拡充(R5.2) **県内初**  
映像伝送システムLIVE119運用(R5.6現場映像をリアルタイム共有)

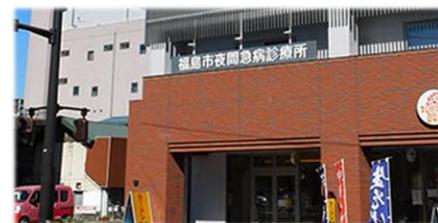
12誘導心電図  
伝送装置



映像伝送システムLIVE119

#### ◎地域医療体制の充実

- ・夜間急病診療所運営  
内科、外科、小児科の診療を実施、夜間の一時救急医療体制を確保
- ・小児科医療体制の確保  
休日オンライン診療(R5.10、年末年始)、新規開業支援の創設、適正受診の啓発
- ・休日在宅当番医制運営
- ・休日救急歯科診療所運営
- ・茂庭診療所運営
- ・医師・看護師確保、臨床研修支援



夜間急病診療所

## 2 安全安心なまちづくり

### (4) 共生社会の実現



子ども、高齢者、障がい者など、誰もが安心して暮らせるようハード・ソフト・心のバリアフリーに取り組みます。外国人や動物にもやさしいまちを目指します。

#### ◎バリアフリーの推進【バリアフリー推進パッケージ】～バリアフリーマスタープラン策定(R3.6)

- ・ヘルプマーク・ヘルプカード普及推進
- ・いきいき！ふくしまマーケット開催
- ・南福島駅エレベーター設置 (R5.3)
- ・歩道点字ブロック・シート設置
- ・サイン表記のガイドライン作成
- ・ボッチャ普及推進
- ・障がい福祉サービスの充実
- ・障がい者雇用促進企業認証事業 (H29:5社⇒R5:15社)、ゴールド認証を創設(R5:5社)
- ・心のバリアフリー推進強化月間 (10月)
- ・キャッチフレーズ「共生、学びは無限大」を活用、学生推進隊による普及促進
- ・バリアフリー推進パートナーミーティング (発足R元:263団体⇒R5.7:297団体)
- ・パートナーシップ制度導入検討 (R5.8審議会へ諮問 R6導入を目指す)

県内初

#### ◎多文化共生の推進

- ・多文化共生センター「Yuiverse(ユイバース)」開設 (R5.9.30)  
外国人等が気軽に立ち寄れる交流拠点。定住促進で地域活力や労働力へ。
- ・外国人生活相談
- ・国際交流員配置
- ・国際交流事業支援
- ・外国にルーツを持つこどもの日本語サポート
- ・平和宣言50周年記念事業
- ・結・ゆい・フェスタ
- ・夜間中学「第四中学校天神スクール」(R6.4開設予定)



多文化共生センターYuiverse

県内初

#### ◎動物との共生

- ・動物愛護推進 (不妊支援、譲渡時のマイクロチップ装着・感染症等検査)
- ・ペット同伴避難所の充実 (R4.3獣医師会との連携協定締結)

## 2 安全安心なまちづくり

### (5) 生活環境の整備



市民が快適な生活を営み続けるための環境整備を行います。  
仮置場の原状回復・返還を行い、健康管理・食品等の放射能測定等を引き続き実施します。

#### ◎生活環境の整備

- ・あぶくまクリーンセンター再整備（R10供用開始予定 焼却熱エネルギー発電）
- ・合併処理浄化槽設置・転換支援  
下水道事業区域を見直し、市街化区域の転換費用補助額を上乗せして整備促進
- ・ムクドリ、カラス対策



ムクドリ・カラス対策機器

- 音声再生装置等で街なかフン害対策、ごみ集積所のごみ散乱防止の効果検証…冬場のカラス対策
- ・盛土規制法に基づく規制区域の基礎調査
- ・福島交通飯坂線 第4種踏切安全対策  
2か所暫定通行止め(R5.4)、踏切事故防止の啓発動画(R5.4)、廃止・保安設備の整備等を促進
- ・通学路等の交通安全施設整備（歩道拡幅・交差点改良、道路標識・照明灯更新）
- ・特殊詐欺の防止 ・犯罪被害者への支援（R5見舞金創設）

#### ◎放射線関係

- ・「汚染状況重点調査地域」の指定解除（R5.3）
- ・仮置場の原状回復と返還の推進  
R4末24カ所返還、残り17カ所の返還へ向け作業
- ・放射線からの安全安心確保



第4種踏切事故防止 啓発動画

- 環境放射線量の測定、健康管理、学校給食検査、農産物・食品等放射能測定、放射線教育
- ・原発処理水海洋放出による風評対策（本庁食堂で食べて応援「浜通りエールイベント」）

# 3 子育て・教育で選ばれるまちづくり

## (1) 子育て支援の充実



保育所等の待機児童ゼロの定着や、多様な保育サービスで保育の質の向上を図り、子どもファーストで「子育てするなら福島市」と称されるまちを目指します。

### ◎子育てのための経済的支援

～結婚から子供が健やかに育つまで、切れ目ない経済的な支援を総合的かつ継続的に推進～

**74億8,693万円**

#### 0. 結婚新生活

**市独自**

**拡** 結婚新生活応援

- ①住宅スタートアップ支援(所得制限なし)  
(初年度15万円)
- ②家賃支援 2年間  
(最大年24万円)
- ③住宅取得支援  
(最大30万円)

#### 1. 妊娠～出産期

**新** 妊娠届時  
5万円給付

**市独自**

○ 妊婦健診15回無料

**市独自**

○ 新生児聴覚検査無料

**新** 出生時  
5万円給付

**拡** 出産育児一時金  
50万円給付

#### 2. 乳幼児期

**市独自**

**拡** 福島型給食  
・質の高い給食  
・給食費の1/3を支援

**市独自**

○ 0～2歳児の保育料  
を国基準額から軽減

**市独自**

第2子の保育料1/2  
第3子以降は無料  
**拡** 所得制限撤廃  
(年齢基準なし)

○ 幼児教育・保育の無償化

#### 3. 小学校

**市独自**

**拡** 福島型給食  
・質の高い給食  
・給食費の1/3を支援

**市独自**

○ 放課後児童クラブの  
利用料を軽減  
・第2子 2,000円  
・第3子以降  
4,000円

#### 4. 中学校

**市独自**

**拡** 福島型給食  
・質の高い給食  
・給食費の1/3を支援

#### 5. 高校

**市独自**

○ 奨学資金  
支給制度  
(年5万円)



**市独自** 国民健康保険税軽減(未就学児、18歳以下の第2子以降※所得制限撤廃し均等割全額減免)

**市独自** 子どもの医療費18歳まで全額無料(窓口無償化)

児童手当 月額5,000円～15,000円

# 3 子育て・教育で選ばれるまちづくり

## (1) 子育て支援の充実

### ◎待機児童解消の取組

【待機児童対策推進パッケージ】～官民連携した取組

#### (1) 保育の受け皿の拡大

- ・保育定員 **1,025人増** (H30.1⇒R5.4)
- ・AI活用による入所実現 (R5.4実績:**79人**)
- ・企業主導型保育施設 **6施設301人増** (H30.1⇒R5.4)
- ・幼稚園送迎ステーション (R5:2カ所に増設、利用時間拡充)
- ・私立幼稚園預かり保育支援 (R5.3利用**696人**、R5:8施設に拡大)
- ・保育アテンダント (入所マッチング専任相談員2名配置)
- ・私立保育所・認定こども園整備支援 (R5:2施設**240名**)
- ・(仮称)もりあい認定こども園整備 (R8.4開園予定)

#### (2) 保育士の確保

- ・保育士雇用 **458人増** (H30.4⇒R5.4) ※認可保育施設
- ・保育士等奨学資金貸付 (R4:**67人** 無利子・返還減免)
- ・保育士するなら福島市！プロモーション
- ・保育人材バンク、潜在保育士の就労支援 (R4:**就労64人**)
- ・UIターン保育士就労支援 (R4:**就労7人**)
- ・保育士宿舍借上げ支援 (R4:**22施設**)
- ・保育士等の処遇改善

#### (3) 保育の質の確保

- ・保育の質ガイドラインによる研修会 (子どもの視点に立った保育)
- ・ICTを活用した保育業務支援システムの運用

# 待機児童 3カ年連続 **0!!**

## 対H29 **-223人**



保育士プロモーション動画



### 3 子育て・教育で選ばれるまちづくり

#### (1) 子育て支援の充実



- 【えがお条例基本理念】
- ①1人の人間として尊重
  - ②自己肯定感が育まれる
  - ③社会生活能力の習得
  - ④個性や可能性を伸ばす
  - ⑤地域社会の連携協力

#### ◎子ども・子育て新ステージ2020推進事業

- ・休日保育（2施設）
- ・子どものえがお条例（R3.6 市全体で子どもの育ちを支援）
- ・**福島型給食推進事業**（地産地消推進と給食費負担軽減。R5.5食材高騰分を拡充し約4割を補助）
- ・放課後児童クラブ支援員等処遇改善（サービスの質向上）
- ・多子世帯第2子以降の負担軽減（保育施設、放課後児童クラブ）
- ・**特色ある幼児教育・保育**（4年目以降も支援延長 R4:11施設。PR動画作成）
- ・**病児・病後児保育施設の新設支援**、早朝・深夜・宿泊を伴う緊急預かり
- ・国民健康保険税の多子世帯負担軽減（18歳以下の子ども2人目以降の均等割一律全額減免）



特色ある幼児教育・保育

#### ◎子育て環境の整備

- ・放課後児童クラブの運営（R5:運営94クラブ→R6増設支援、家賃補助56クラブ、会計事務支援）
- ・子育てポータルサイト開設（R4.3）
- ・子ども食堂運営支援（フードバンク機能強化、子どもの居場所づくり）
- ・**未就園児の定期的な預かりモデル事業**（2か所で実施）
- ・**定期的な休日保育**（R5.11 公立保育所として初）
- ・**こども家庭センター・えがおの前倒し設置**（全ての子ども、妊産婦、子育て世帯の総合相談窓口）
- ・**新婚・子育て市営住宅提供** ・ふくしま☆スタイル住宅整備

#### 放課後児童クラブ待機児童数

R5.5.1 **3人**(前年比▲6)

R4.5.1 9人(前年比▲4)

#### ◎妊産婦支援の充実

- ・**えがお赤ちゃん葉酸プロジェクト** **東北初**（妊活、妊娠、産後の相談も実施）
- ・出産・子育て応援給付金（R5.2支給開始 50,000円/人 伴走型で支援）
- ・子育て相談の充実（オンライン離乳食相談、妊娠・出産・子育て相談。プレママ&プレパパ教室）

# 3 子育て・教育で選ばれるまちづくり

## (2) 教育の充実



福島型オンライン授業の充実、読解力の向上と図書の充実、不登校児童生徒の支援体制の拡充、学校施設の改修など、子どもたちの健やかな成長と質の高い学びを支えます。

### ◎学校教育の質の向上

- ・**福島型オンライン授業** ～1人1台端末の日常的な授業での活用  
全市一斉オンライン授業、**ふくしまっ子未来トーク**、ICT支援員の配置、**市電子図書館のID配付**
- ・デジタル教科書の全校導入（英語、算数・数学科）
- ・**福島型個性をのばす教育**（著名人・地元企業のスポーツ・文化芸術教育、部活動地域移行と連動）
- ・学校図書館のICT化（学校図書館の電子化、市立図書館との連携）
- ・中学生ドリームアップ（キャリア教育の推進）
- ・読解力向上推進、学力向上サポート（学習支援員配置、R5.2図形学習タングラムを配備）

### ◎学びの環境の充実

- ・**学校施設リフレッシュ、バリアフリー化**  
外壁・屋上の改修、改築・長寿命化のスピードアップ。トイレのバリアフリー化。
- ・**松陵中学校改築**（R5着工、**本市初の義務教育学校**、R7開校予定）
- ・小中学校屋内運動場改築（瀬上小、余目小、西信中、渡利中）
- ・**ふくしま支援学校校舎等改築**（R3校舎供用開始、R6.3月完成予定）
- ・**新学校給食センター整備**（PFI方式での整備に着手、R8供用開始予定）
- ・**学校図書館の図書整備**
- ・**いじめ・不登校対応推進**（R5.6条例改正、支援教員R3:5校→R4・5:8校）
- ・**公立夜間中学「第四中学校天神スクール」開設準備**（R6.4開校予定） **県内初**
- ・中央地区の小中学校再編（先導的な教育モデルや不登校支援の充実も検討）



ふくしまっ子未来トーク

# 4 持続可能な産業の創出

## (1) 持続可能な農業の振興



6次化と果実プロモーションの展開により、本市農産物の販売拡大とブランド力向上を図ります。  
本市農業を担う人材確保に取り組むとともに、農林業の振興及び農作物への被害対策を強化します。

### ◎販売拡大・ブランド力向上

- ・「ゆうやけベリー」ブランド戦略 (R5.12)
- ・スイーツ・プレミアム (計29品認証)
- ・果実等プロモーション



ゆうやけベリー



ふくしまスイーツ・プレミアム

駅前・Web軽トラ市、重点消費地や交流都市へのトップセールス、ピーチ・アップルホリデーの展開

- ・F-BOX活用 (詰め合わせ商品ブランド化)
- ・農産物食品加工の産業化
- ・新商品・新品種の開発促進



F-BOX  
贈答用

### ◎農林業の振興と被害対策

- ・新規就農支援パッケージ

相談～定着までを応援。農業体験、農業メンター制度など

- ・米粉等利用拡大支援 (商品開発・生産支援。学校給食に米粉パンを提供)
- ・人・農地プランの策定推進
- ・気候変動に対応した農業の支援



カジュワーク職員制度

果樹剪定枝活用、病害虫薬剤・果樹栽培施設の助成、収入保険加入促進特別対策(R7まで)

- ・カジュワーク職員制度 (農家作業と市職員をスマホアプリでマッチング)
- ・スマート農業推進 (R5.10実演会開催) ・福島大学食農学類との連携
- ・鳥獣被害対策強化 (R5.4獣マップ運用開始、ツキノワグマ被害対策出前講座)
- ・福島地方卸売市場の再整備推進

# 4 持続可能な産業の創出

## (2) 商工業の振興



地元企業の事業承継や新分野へのチャレンジ、新規創業者を支援し、商工業の振興を図ります。積極的な企業誘致を行い、福島らしい産業の集積を進めます。

### ◎地場企業の振興

- ・特定集積産業事業拡大強化支援（食品加工・健康関連など、事業者の生産強化を支援）
- ・医産連携推進 ・若手後継者育成「次世代夢創塾」（参加業種拡大）
- ・中小企業ゼロカーボン資金融資、中小企業振興資金融資



起業女子  
応援パッケージ

### ◎新規創業支援

- ・創業応援利子補給パッケージ  
創業応援、女性の創業応援。創業融資の利子を最大2年間補助
- ・起業女子応援パッケージ
- ・若者創業支援トップセールス（学生を対象とした創業促進）
- ・ポストコロナ対応デジタル化等支援（デジタル化と創業支援）
- ・クリエイティブビジネスサロン運営
- ・街なか創業ゾーンの形成（都市型産業を集積）



クリエイティブビジネスサロン

### ◎企業誘致の促進

- ・福島おおぞらインター工業団地第2期整備着手（第1期全6区画完売。R6年度末募集開始予定）
- ・「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援（本社・支社機能の誘致推進、ゆとり満喫エールパスポート）
- ・企業誘致トップセールス、セミナー
- ・工業エリア戦略的販売促進（民間工業用地を空撮動画でPR）
- ・誘致企業と地元企業・大学が連携した研究開発・新産業化の促進（R5.9包括連携協定締結）

H30～R5で **19** 社の企業誘致

## (1) 中心市街地の活性化



福島駅東口の再開発事業を支援するとともに、連携して新たな交流・集客拠点施設整備を進めます。交通手段の充実・商住環境の整備を行い、多様な仕掛けで賑わい創出や交流人口の増加を図ります。

### ◎中心市街地のまちづくり

- ・福島駅東口地区市街地再開発事業の本格着手（R6.3解体完了予定）  
事業の核となる福島駅東口の再開発事業を国・県とともに支援  
〈経過〉施設整備基本計画策定(R2.3)、組合設立・事業計画認可(R3.7)  
事業計画変更認可(R4.6)

⇒工事費高騰により踏み込んだ見直しも視野に、駅東西一体的なまちづくりも検討

- ・福島駅前交流・集客拠点施設整備事業

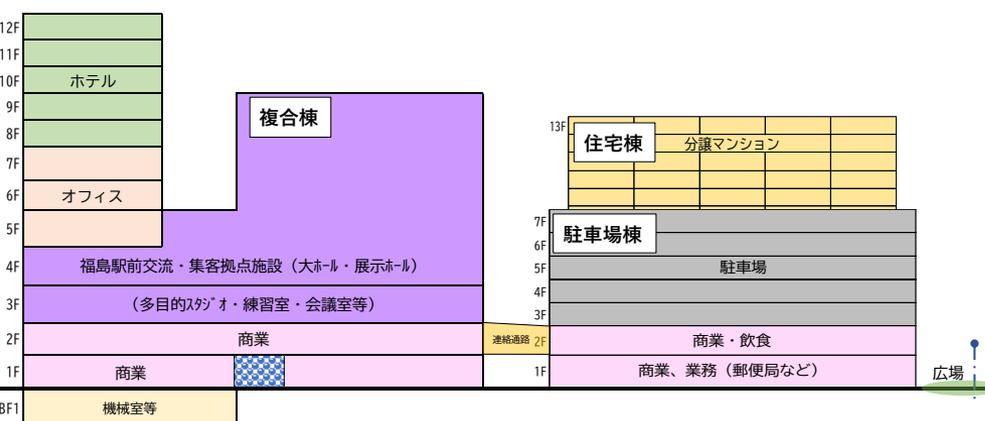
コンベンション施設の管理運営体制を整備し、多様な用途の連携で「賑わい創出」や「回遊性向上」

- ・工事定点観測会・現場見学会（小中学生の親子を対象）

- ・整備中の賑わい創出（R5.8テレビ番組スプレーアートや学生デザイン画で仮囲い装飾）



イメージパース



### 【工事費高騰への対応】

工事費縮減…使用資材の変更、施設計画の再調整  
財源確保…高騰分への補助金、新たな国庫補助

- 建設工事の着手 令和5年度 ➡ 令和6年度
- 施設のオープン 令和8年度 ➡ 令和9年度

# 5 賑わいと文化の振興

## (1) 中心市街地の活性化

### ◎中心市街地の活性化

#### ・街なかの賑わい創出

まちなか広場、街なか交流館、駅前地下歩道階段アートデザイン、ストリートピアノ

#### ・空き店舗の活用

街なか再生リノベーション支援、街なか空き店舗出店支援（創業ゾーン形成）

#### ・不動産投資研究会（R5.2立上げ）

#### ・街なか居住促進

新婚・子育て住宅として中心市街地借上げ市営住宅を提供(R5.4)

#### ・ふれあいパーク大型遊具・築山整備（R5.7）

#### ・街なか賑わい創出プロジェクト

情報サイト運用開始(R5.4) まちづくりの仲間を拡大しイベントの情報共有と連携を深める

#### ・商店街等活性化イベント支援（R5.12事業費増額補正、年間を通じて切れ目のない開催）

#### ・学生等のまちづくり活動支援

#### ・街なかテーマパーク（まちなかこどもの日）

#### ・ももりんシェアサイクル

ポート増設・増車(R5.7)、花見山臨時ポートの設置

#### ・パークアンドライド

まちなか店舗コラボキャンペーン。イベントと連動した利用設定で滞留性と回遊性の向上

### ◎交通ネットワークの充実

#### ・市民会館周辺の改良（消防本部の移設を見据えた拡幅整備）

#### ・都市計画道路を見直し整備促進

#### ・「国道13号福島西道路」の南伸はR8年度末までに開通の見通し



街なか再生  
リノベーション



街なか  
テーマパーク

①クリエイティブビジネスサロン



②駅前地下歩道ストリートピアノ階段アート、新・街なか交流館



③歩行者天国定期化(軽トラ市)



④新まちなか広場整備



⑤福島駅東口再開発事業



# 街なかの新しい動き



⑥県立医大保健科学部開設ほか、大原綜合病院・福島赤十字病院移転新築



⑪古関裕而記念館リニューアル



⑩消防本部・福島消防署(イメージ)



⑨(仮称)市民センター整備



⑧県庁通りアーケード改修



⑦パセオ通りバリアフリー化



## (2) 公共施設の再編整備



「風格ある県都を目指すまちづくり構想」に基づき、耐震性の弱い公共施設の再編整備を進めます。

### ◎(仮称)市民センター整備

～市民交流の拠点となる『複合市民施設』～ (R4.10着工、R6供用開始)

中央学習センター、市民会館の一部、敬老センターの機能を統合・複合化した「市民交流機能」、市民の代表としての「議会機能」、市民の安全・安心のための「防災機能」を備える多用途活動拠点。立体駐車場を4段から5段に増床して利便性向上。

①市民交流施設(中央学習センター等の統合・複合化)

②市民兼用会議室

③議会(一部市民開放)

+ 防災機能強化

・工事状況ビュースポット設置 (本庁舎から観測)

・黑板アートで仮囲い装飾 (R5.8高校生が制作)



(仮称)市民センターイメージ

### ◎公共施設の再編整備

・消防本部・福島消防署の再整備 (市民会館用地へ移転。R10.4開設予定)

・清水支所の建替 (R6.2.26開所予定 **本市初のニアリーZEBに対応**)

・未利用公有財産の利活用 (提案型民間活力導入制度。旧大久保小学校活用の協定締結(R5.5))

・三河台学習センターリニューアル、飯野学習センター移転・支所複合化

ユニバーサルデザイン、太陽光発電、避難所機能強化

・市立図書館の再整備



仮囲い装飾 黑板アート

## (3) 観光対策の強化とシティセールス



道の駅ふくしまの運営、花観光・ロケツーリズムなどのテーマ観光を推進し、本市へのさらなる誘客を目指します。本市のまちづくりを効果的に発信し、ファン拡大と関係人口の増加を目指します。

### ◎道の駅ふくしま 「実・湧・満・彩 福島市」の地域振興拠点 ～集客交流、情報発信、産業振興～

- ▶ **福島を象徴** : 古閑裕而のまちらしい外観、県産材を豊富に使用、吾妻連峰の眺望
  - ▶ **魅力を詰込む** : 旬のフルーツ「くだものの宝石箱」、地元野菜、県産物のフードメニュー、日本酒
  - ▶ **誰もが楽しめる** : 高齢者・障がい者に優しいバリアフリー、子育て家庭やペット連れの方も
  - ▶ **回遊の仕掛け** : 独自アプリや電動付きレンタサイクルで、観光果樹園や温泉、広域の名所へ周遊
  - ▶ **防災・環境意識** : 広域防災拠点の機能、電力の地産地消
- 世界王者エアレーサー室屋義秀氏の練習飛行。東北道利用者も「寄り道」可能な道の駅へ。  
 ・周遊スポット魅力アップ（来訪者の市内周遊を促進）



道の駅ふくしま

来場者  
300万人  
突破!

### ◎福島らしい観光

- ・「ふくしまステイ。」観光プロモーション
- ・ふくしま花回廊（通年の花観光。ふくしま花回廊デジタルラリーR5.3～6）
- ・ふくしま花火大会、わらじまつり（有料観覧席を増設・新設）
- ・ロケツーリズム推進（ロケ誘致と観光への活用。ロケ実績 R元:1件⇒R4:30件）
- ・インバウンド誘客、吾妻五葉松PR



わらじまつり

- 海外観光プロモーション、BONSAIジャック、プロモーション動画活用など
- ・あづまエリアツーリズム(蔵元ツーリズム) ・土木遺産群インフラツーリズム
- ・磐梯吾妻ヒルクライム大会支援 ・地域資源を活用した観光コンテンツ創造支援

# 5 賑わいと文化の振興

## (3) 観光対策の強化とシティセールス

### ◎温泉活性化 ~福島三名湯ブランディング~

#### (1)「飯坂温泉」

国有形文化財…旧採進堂酒店(R1.9登録)、  
十綱橋(R2.4登録)、旧堀切家住宅(R2.4登録)

#### (2)「土湯温泉」

土湯温泉都市再生整備…

R5.7~齋正機氏絵画展示

公衆浴場「中之湯」(H30)、観光交流センター「湯愛舞台」(R1)、まちおこしセンター「湯楽座」(R1)

#### (3)「高湯温泉」

じゃらん人気温泉地ランキング2024版 満足度総合部門 **第1位 満足度94.4%!!**

・**ふくしまサステナブルおもてなし宣言** (R5.12 SDGsの取組を推進)

### ◎シティセールスの推進

・大波三兄弟を「実・湧・満・彩 ふくしまエール大使」に任命 (R4.10)

・首都圏の関係人口創出、故郷とのつながり支援

「福島市ゆかりの会」・「東京ふくしま笑而(わらじ)会」の設立(R3.3)、東京福島市のつどい開催

・**ふくしまMICEパッケージ**

企業・学会等の大規模会議誘致と開催支援  
市独自の補助制度、特色ある施設・土産品

・**ふるさと納税促進**

まちづくり賛同型の展開、活用事例の発信、  
独自色の強い返礼品など、本市ファン拡大

・**納豆料理コンテスト** (消費額4年連続日本一)

・**信夫山公園150周年事業** (ロゴ、冠イベントなど)

# R4観光客入込数 **750万人** 過去最高!!



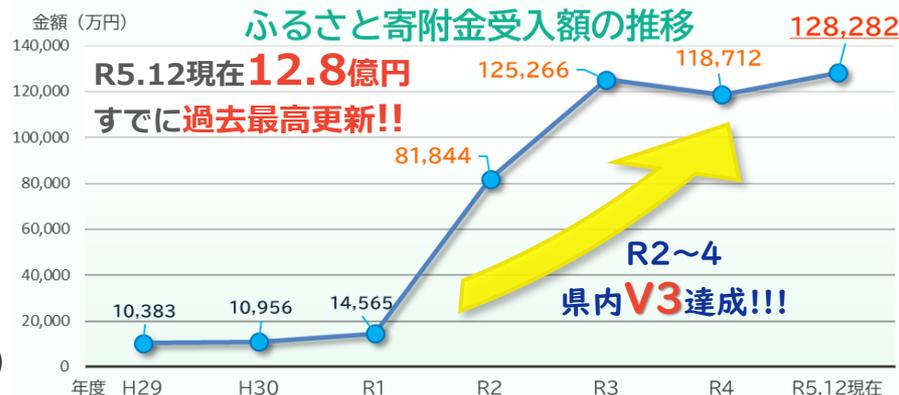
飯坂温泉



土湯温泉



高湯温泉



## (4) 古関裕而のまちづくり



連続テレビ小説「エール」の遺産を活用しながら、「古関裕而」のまちづくりを推進します。  
 新たな文化イベントや街なかの仕掛け、古関裕而氏の野球殿堂入り記念事業を展開します。

### ◎古関裕而のレガシー活用

- **野球殿堂入り実現** (R5.1.13)  
 銅板レリーフ展示、全早慶野球戦と応援合戦(R5.11)
- **第2回古関裕而作曲コンクール** (R5.7募集開始、R6.6本選)  
 古関楽曲のような旋律美を重視、優勝作品を活用
- **古関裕而記念音楽祭2023** ・生誕記念コンサート
- **ふくしまチェンバー・オーケストラの活動支援**
- **まちなか音楽祭** (R5.10 屋外5ステージで街に音楽があふれる)
- **古関メロディ体感の仕掛け**  
 メロディーバス運行、メロディーボックス、ARスポット、  
 デザインマンホール、パセオ通りカリヨン時計塔など



野球殿堂入り



全早慶戦



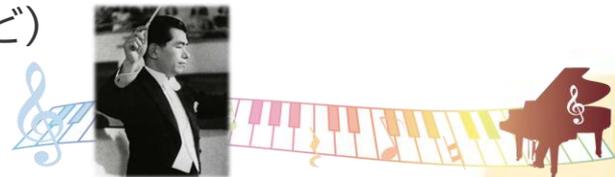
メロディーバス



### ◎エールレガシー事業

～ロケ地だけでなく「自然景観」「温泉地」「フルーツ王国」の魅力を継続して発信

- **被災3県朝ドラ連携おかえりプロジェクト**  
 東京有楽町に情報ステーション「おかえり館」設置。観光PR、産品販売、移住案内の拠点
- **エールドラマセット継続展示** (おでん屋台、喫茶バンブーなど)
- **ロケ地、まち歩きマップ**
- **SNSやWEBを活かしたデジタルプロモーション**



## (5) オリパラを契機としたまちづくり



「東京2020大会」の開催を契機としたスポーツのまちづくり・健康づくり等を推進し、レガシーを活用した事業を展開します。

### ◎スポーツのまちづくり

#### ・ふくしまシティハーフマラソン 初開催&2024エントリー開始

オール福島のおもてなしで、4千人超のランナーが街なかを疾走  
参加者等の意見を参考に磨きをかけ本市を象徴するスポーツイベントへ



ふくしまシティハーフマラソン2023

#### ・スポーツコミッション運営

大相撲夏巡業福島場所、荒汐部屋夏合宿(R5.8大波三兄弟凱旋)

スポーツ大会・合宿の受入、パラスポーツ推進のワンストップ窓口



荒汐部屋夏合宿

#### ・日米対抗ソフトボール2023大会

国際交流試合の開催支援やおもてなし



日米対抗ソフトボール  
2023

#### ・スポーツホームタウン賑わい創出

福島ユナイテッドFCと連携した交流大会・パブリックビューイング等

ふくしま田園中枢都市圏の自治体と連携し、少年少女サッカー交流大会を開催

#### ・スポーツ施設整備

相撲場、スケートボードパーク、テニスコート等の改修

#### ・パラスポーツの振興

ボッチャ競技の市長杯を開催、パラアスリートを学校へ派遣

オリパラを契機とした健康づくり

#### ・バリアフリー推進パッケージ(再掲)



ボッチャ競技

## (6) 福島らしい文化の振興

本市の歴史と文化を活かした特色ある事業を展開し、福島らしい文化の振興を図ります。

### ◎文化の振興

- ・文化振興条例（R5.1施行 福島らしさにこだわった本市独自の特徴）
- ・文化振興計画・文化財保存活用地域計画の制定
- ・写真美術館（花の写真館）の活用

国宝複製品とプロジェクションマッピングの企画展は過去最多9千人が来場

- ・齋正機氏絵画の展示

寄贈10点を旧堀切邸やクリエイティブビジネスサロンなど市内4施設で常設展示

- ・旧広瀬座の再整備（R7完成予定）
- ・「民家園」の活用（現存する10棟の文化財を保護、活用）
- ・ふくぶん（福島らしい文化）の発信  
文化施設でイベント開催し魅力を発信
- ・アートストリートふくしまの開催

### ◎縄文文化等の保存と活用

- ・「鎮兵」木簡の保存活用（レプリカをR6展示） **全国初出土**
- ・じょーもぴあ宮畑活用推進
- ・和台遺跡整備基本計画策定に着手

縄文文化と飯野地区の花の調和。保存活用計画策定(R5.3)

- ・しゃがむ土偶ドキドキ事業（まちかど博物館、ファンクラブ「ぴ〜ぐ〜♡会」活動、商品開発）



写真美術館



旧広瀬座



じょーもぴあ宮畑



しゃがむ土偶

## (1) デジタルシティの推進



高齢者にもやさしいデジタル化を推進し、市民生活と地域社会の全体にわたってデジタル化を浸透させます。市民や地域を豊かにすることを意識して、常に現状を見直し改善に努め、業務効率化を推進します。

デジタルで便利で豊かな新ステージへ～福島市デジタル都市宣言(R4.11)

## ◎市民サービス・暮らしの向上

- ・マイナンバーカード取得促進（集中的取組、高齢者等出張申請受付）
- ・行政手続オンライン化（マイナポータルでの申請手続き拡充 27⇒179種類）
- ・**戸籍等証明書のオンライン交付申請・決済**（R5.10自宅で申請、自宅に届く）
- ・公共施設予約システム（スポーツ・文化等**36施設** キャッシュレス決済 **東北初**）
- ・LINE情報発信、イベント予約の拡充
- ・**テレビのデータ放送による市政情報発信の多重化** **県内初**
- ・**ショート動画の市政広報**（R5.10若い世代向け）
- ・こむこむ館デジタルコンテンツ導入
- ・見守り機能充実（認知症の徘徊、登園システム・送迎バス安全装置、児童生徒の健康観察アプリ）
- ・デジタル化推進フォーラム開催（R5.11）

【マイナンバーカード】R5.12月末

- ・保有率 **73.9%**（全国73.0%）
- ・交付率 **79.0%**（全国77.7%）
- ・申請率 **82.8%**（全国79.0%）



データ放送協定締結

## ◎行政の高度化・効率化

- ・**議会答弁検討システム**（R5.4本格運用、販売開始）
- ・**業務システム内製強化**
- ・**電子入札**（R5.7開始）
- ・**電子図書館の開設**（R5.2）

## ◎市民共創で高齢者にもやさしいデジタル化

- ・スマートフォン利活用支援講座
- ・**デジタルサポートデスク**
- ・**デジタル人材バンク**
- ・シルバー人材センターICT班活動支援（高齢者が高齢者のデジタル化を支援）
- ・世代間デジタル交流（R5.9子どもたちを先生とした高齢者との交流）



デジタルサポートデスク

# 6 デジタル都市の形成と地域経営のリノベーション

## (2) 地域経営のリノベーション



市民・企業とのコミュニケーションを図り、「共創」と「連携」によるまちづくりに取り組みます。連携を深め、持続的発展に向けた広域的取組を推進します。

### ◎共創によるまちづくり

- 電子町内会の活動促進 (R2:4⇒R5:39町内会、R4.11ウェブサイト構築)

- 「こくりナビ」スタート (R5.8)

学生・若手社員と市事業や地域とをマッチング、若者のまちづくりへの参画

- デジタル専門学校開校 (R5.7)

デジタル・クリエイティブ人材を育成し、産業の活性化を推進

- 地域おこし協力隊 (3地区から6地区に拡大)

現在5名を配置、うち3名が女性

R5.4任命…吾妻地区・土湯地区 R4任命…飯坂地区・飯野地区・大波地区



地域おこし  
協力隊

### ◎持続可能な行政経営

- 業務システムの標準化

国仕様に標準化しガバメントクラウドへの移行準備

- 都市間交流

豊橋市: 手筒花火披露、本市産くだもの販売。パートナーシティ協定締結(R5.2.9)

荒川区: 酒造り交流、共同森林整備、本市農産物の商品開発、観光連携協定

- ふくしま田園連携中枢都市圏による広域的発展

構成9市町村の強み等を生かした具体的な取組を推進

ふくしま広域デジタルラリー、起業家育成スクール、ビジネスマッチング



豊橋手筒花火



# 7 ゼロカーボンの推進

## (1) 再生可能エネルギー活用・省エネ化の推進



豊かな環境を未来に引き継ぐため、福島らしい再生可能エネルギーの生産と活用を推進します。エネルギー価格の高騰や多発する災害への対応も踏まえ、ゼロカーボンの取組を加速します。

### ～脱炭素社会実現実行計画の目標前倒し

温室効果ガス排出量2030年度削減: 30%⇒55%

### ◎事業者・家庭向け支援

- ・中小企業ゼロカーボン資金融資の創設
- ・事業者省エネ設備支援
- ・ゼロカーボンパーク登録 (R5.8土湯・高湯温泉地が先行して脱炭素化に取り組む) **東北初**

### ・小水力発電促進

導入可能性調査費用の補助、R5.4小水力発電事業基本契約締結(2か所目、R9運用開始予定)

### ・水素活用普及

FCV購入への市独自補助、普及啓発イベント、(仮称)市民センターへの純水素燃料電池導入  
R5.3定置式水素ステーション開設、R5.4福島・川俣間で燃料電池の路線バス運行開始

### ・脱炭素住宅整備補助の拡充

### ・脱炭素生活スタイル普及啓発 (国県も含めた補助制度PR)

### ◎公共施設での活用推進

- ・公共施設への太陽光発電導入
- ・街路灯・道路照明等のLED化前倒し推進
- ・公共施設照明のLED化推進
- ・公用車の電気自動車への転換

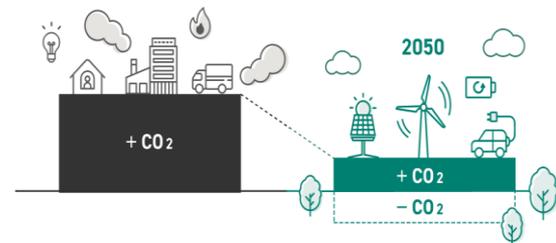
本庁駐車場にクリーンセンターのバイオマス発電を利用した急速充電器設置

### ノーモアメガソーラー宣言

- ・山地への新規大規模太陽光発電を望まない
- ・地域共生型の再生可能エネルギーを推進



太陽光パネル



※出典「環境省 脱炭素ポータル」

# 7 ゼロカーボンの推進

## (2) 森林整備、ゴミ減量化の推進



二酸化炭素の吸収源である森林の整備と普及啓発、併せて、木材利用を促進します。市民が快適な生活を営み続けられるよう、持続可能な循環型社会の構築を目指します。

### ◎森林整備・木材利活用の推進

#### ・森林経営管理の推進

森林所有者へ意向調査し、経営管理権集積計画を作成計画に基づく森林整備。R5は吾妻地区20haを予定

#### ・ふくしま林業再生事業、林道整備

間伐や下草刈、路網整備を一体的に実施

#### ・森林病虫害被害防止対策

#### ・森林環境学習、保存活動の支援

#### ・**県北地方植樹祭の開催** ・荒川区との「あらかわの森」共同森林整備

#### ・**公共施設のZEB化**、木材活用

清水支所：庁舎建替を木造で整備。本市初のZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）認証

旧広瀬座：木造のトイレ棟を新たに整備



森林環境学習



木材活用  
(ももRabiキッズパーク)

### ◎ごみ減量化の推進

#### ・ごみ減量化・資源化の促進

生活系ごみ1人1日530g以下を目標

ダンボールコンポスト購入費用助成など、生ごみ減量化を促進

#### ・**フードシェアリングサービス「ふくしまタバスケ」**（R5.9）

売れ残りを防ぎたい食料品店と、食品ロスに貢献したい市民をマッチング

### ふくしま タバスケ

～「もったいない」が、あなたとお店をマッチング～



# 8 移住定住の促進、女性活躍社会の形成

## (1) 移住定住の促進



交通アクセスの良い本市へのオフィス移転や家族を含めた移住・定住支援を強化します。  
コロナ禍で婚姻数が年々減少していることから、結婚へ踏み出せる環境整備と定住促進を図ります。

### ～移住定住推進パッケージ～

#### ◎移住の積極的推進

- ・移住コーディネーター配置(R5.2) ・ワンストップ相談窓口
- ・首都圏での移住フェア & 本市単独出張相談会
- ・広報推進 (移住応援サイト、WEB広告)
- ・おためし移住体験 (プレ移住サポート、街めぐリアテンド隊)
- ・UIターン移住支援 (子育て世帯加算を増額)
- ・移住新生活応援 (引越費用補助、♨湯めぐりパスポートを贈呈 ～福島三名湯3年間入浴料無料!)
- ・多世帯同居・近居支援 ・空き家等対策推進 ・**年末年始帰省者へ臨時相談窓口(駅西口)**



#### ◎結婚・定住しやすい環境整備

- ・**ふくしま☆スタイル住宅整備** ～住んで良かったと実感できる魅力ある市営住宅。省エネ性能にも配慮
  - ▶新築住宅… 1Fは高齢者向け、2Fは若者・子育て世帯向けの地域優良賃貸住宅
  - ▶DIY住宅… 入居者が自由にアレンジできる
  - ▶リノベーション住宅… 民間事業者とコラボしたリノベーション
- ・出会いの場創出
- ・結婚新生活応援 (R4活用実績:**222世帯**)  
賃貸住宅スタートアップ(所得制限なし)、家賃2年間、マイホーム購入・リフォーム
- ・**移住者同士や地域との交流** (わらじまつりや芋煮会の体験を通じて)



ふくしま☆スタイル住宅整備

# 8 移住定住の促進、女性活躍社会の形成

## (2) 女性活躍社会の形成



社会的な意識改革を促しながら、女性が活躍しやすい環境づくりに取り組みます。

### ◎ふくしま起業女子応援パッケージ ～起業した先輩たちが姉妹のように伴走型で支援～

女性の起業チャレンジ講座、起業相談「姉妹カフェ」、プチインターンシップ、お試しワンデー起業

### ◎女性活躍のための施策

- ・働く女性応援企業認証(H29:24社⇒R4:72社)、ゴールド認証(R5:9社 5年以上継続)
- ・「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」に参加(R5.2)
- ・ひとり親家庭の資格取得支援、男女共同参画の啓発
- ・結婚や出産を機に離職した女性の合同企業説明会
- ・経済界への女性雇用環境等の改善要請

行動宣言

輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会



プチインターンシップ

### ◎女性の社会的地位向上への取組

#### ・女性市職員の積極的登用

特別職	H29: 0人⇒	R5: 1人(20%)
管理職	// :10人⇒	// :18人(10.1%)
消防吏員	// : 2人⇒	// : 9人(3.0%)



働く女性応援企業ゴールド認証

- ・審議会等の女性比率 H29:29.1% ⇒ R5:38.3%(法定外含め43.5%)
- ・市議会の女性議員 H29:3人(8.6%)⇒ R5:8人(22.9%)

### ◎男性の育児参加促進

#### ・子育て2020(フレフレ)プログラム(男性の育児休業取得推進)

男性職員育児休業取得率 H29:6.3% ⇒ R4:44.6% ⇒ R5:67.4% ※R6.1月現在

- ・子育てエールメッセージ、子育てエールデー
- ・市長自ら「イクボス」宣言 ・「おとう飯」サポーター就任



子育てエールメッセージ